

☆ 平成 20 年度採択された先進医療シーズ

先進医療シーズを募集したところ 9 件の申請があり、先進医療推進委員会で 6 件の研究が先進医療シーズとして採択されました。昨年度採択された先進医療シーズと合わせて現在 20 件の研究をバックアップしています。

診療科	責任者	研究題目
血液・腫瘍内科	岸 慎治	テーラーメイド化にむけた血液がん薬物療法におけるkey drugの網羅的TDM
感染症・膠原病内科	岩崎 博道	血中TNF- α 定量による国内発症リケッチア感染症の重症化予測
循環器内科	宇隨 弘泰	重症下肢虚血疾患における血管内皮前駆細胞モニタリングの有用性
脳脊髄神経外科	北井 隆平	悪性脳腫瘍に対する5-アミノレブリン酸(5-ALA)投与による術中蛍光診断と蛍光を指標とした脳腫瘍摘出術
検査部	岡田 敏春	自動血球計数装置による血小板機能亢進状態のスクリーニング
神経内科	濱野 忠則	大脳皮質基底核変性症の治療法の開発

治験・先進医療センターでは、先進医療シーズに対する CRC 業務(同意説明補助やスケジュール管理、症例報告書の作成補助等)や、試験実施計画書・同意説明文書等の作成補助を行っています。

☆ 被験者募集ポスター作成

治験の実施には、多くの患者さんの協力が必要です。そこで、広く患者さんに知っていただくことを目的に、現在募集中の治験について院内ポスターやパンフレットを作成し広報に務めています。また、ホームページでは治験のわかりやすい解説を掲載し、治験に参加していただける患者さんを募集しています。


今回は泌尿器科で実施中の過活動膀胱の患者さんを対象とした治験の院内ポスターを作成しました。作成したポスターは病院内に掲示しております。患者さんから問合せがございましたら、治験・先進医療センターまで連絡をお願いいたします。




ホームページのアドレスはこちらです。

http://www1.fukui-med.ac.jp/home/ufh/09okusuri/chise/chise_index.html

過活動膀胱の治験にご協力ください



過活動膀胱は急におしっこがしたくなりもれそうになる感じ(尿意切迫感)を起こす病気です。
当泌尿器科では過活動膀胱の方を対象とした治験を実施しております。



募集期間: 2008年9月まで
参加基準: 20歳以上の方
頻尿および尿失禁の症状のある方

治験にご協力いただける方を募集しています。この治験に関心をお持ちの方は、お気軽にお申し出下さい。

問合せ窓口: 泌尿器科外来
治験・先進医療センター
TEL 0776-61-8529

治験とは、開発中のお薬の効果や好ましくない作用を調べるために、患者さんにご協力いただいで行われる臨床試験のことをいいます。
作成日: 2008年5月29日

☆ 治験責任医師インタビュー

現在アルツハイマー型認知症の治験を実施されている須藤先生からお話を伺いました。



神経科精神科
須藤 哲 先生

Q1:アルツハイマー病治療の現状についてわかりやすく教えて頂けないでしょうか？

アルツハイマー病は脳の神経細胞が変性して消え、もの忘れをはじめとしてさまざまな認知機能障害がおこる病気です。神経細胞の変性を止める治療法として、ベータアミロイド凝集の抑制とタウ異常リン酸化の防止という2つの柱があります。

現在はまだこれらのような根本的な治療薬はなく、コリン作動性神経を賦活させる薬（ドネペジル）が唯一のものです。これはアルツハイマー病の進行を若干遅らせ、低下する認知機能や日常生活の動作などを改善させる薬です。もうすぐベータアミロイド凝集を抑制する一法として、ガンマセクレターゼ阻害剤の治験が国内で始まります。ただし、ベータアミロイド凝集をおさえて、アルツハイマー病の進行がとめられるかどうかの証明はまだなされていません。

Q2:アルツハイマー病の治験で苦労していることはありますか？

苦労は特にありません。ご協力いただいている患者さんとそのご家族には、治験の意義をよく理解していただいております。また、CRC（Clinical Research Coordinator）のみなさんや医局の先生方にもよく協力していただき感謝しています。あえて言うなら、治験の対象となる患者さんを見つけるのに苦労しています。

Q3:患者さんを集めるために何か工夫をされていますか？

工夫としては医局の先輩・後輩を通じて、関連病院の患者さんなどにも声かけし、可能な限りの情報を収集しています。また、ポスターの掲示やパンフレットの配布も行っており、反響の大きさに驚いております。

Q4:治験をされていてよいと思うことはありますか？

世界中から治験薬の作用・副作用の報告が集まるので自分自身の勉強になり、安全性を高めるのにとっても役立ちます。また、アルツハイマー病の神経病理学的研究をしていたこともあり、その基礎から臨床開発まで少しでも携わることができ、とてもうれしく思います。

Q5:治験を進めていくために必要なことはなんですか？

どの研究でも同じことですが、ねばり強くあきらめないことだと思います。膨大な資料にうんざりされる医師もいらっしゃると思いますが、CRCのみなさんのおかげで最近の治験は一昔前とはくらべものにならないほど労力は少ないです。

Q6:実際に治験を実施されていて、何か問題点はありますか？

患者さんが来られたときに診察する場所が少ないことくらいです。また、外来看護師・受付も治験について周知していただければ幸いです。

Q7:最後に、CRCへのご意見、ご要望があれば一言お願いします。

患者さんの来院時には、いつも周到な準備を整え、膨大な書類を作成していただき、頭が下がります。そのスムーズなコーディネートのおかげで、とても気持ちよく仕事ができます。情報が電子的にやりとりされる時代ですが、人間味のあるつながりを保てるスタッフでいてほしいと願います。これからも、どうかよろしくお願いします。

須藤先生、ご協力有り難うございました。

☆ 現在募集中の治験

診療科	対象疾患	募集期間
神経科精神科	アルツハイマー型認知症	～2008.8
血液・腫瘍内科	急性骨髄性白血病	～2008.12
泌尿器科	過活動膀胱	～2008.9
整形外科・脊椎外科	強直性脊椎炎	～2009.4
麻酔科蘇生科	重症セプシス	～2010.6

お問い合わせ先

福井大学医学部附属病院 治験・先進医療センター
電話 0776(61)8529
Email chicken@ml.ccns.u-fukui.ac.jp

